

認め合い 支え合い 安心して暮らせる あいおい

社協だより
あいおいの福祉

No. 146

あいおいふくし

「相生市善意のつどい」開催

令和元年6月2日（日）相生市文化会館 扶桑電通なぎさホールにて



福祉教育作文の表彰



善意の日記念払出し



コスモス賞：N.Nダンス（社交ダンス）様（左）
中上光男様（右）



講演会：中村剛氏
演題：「ほんとうの豊かさとは
—新しい時代を迎えて—」

contents

- P2～P5 特集！第4次地域福祉推進計画
- P6・P7 平成31（2019）年度事業計画と予算
- P8 善意の日記念払出し
善意銀行の預託と払出し



- P9 TOPICS ～トピックス～
ボランティア協会だより
- P10・P11 福祉教育作文最優秀作品
- P12 Information ～伝言板～



● 編集・発行 社会福祉法人 相生市社会福祉協議会
〒678-0031 兵庫県相生市旭1丁目6-28 相生市立総合福祉会館内
TEL 0791-23-2666 FAX 0791-23-5990 HP：http://shakyo-aioi.jp/ E-Mail：fukushi@shakyo-aioi.jp



特集

相生市社会福祉協議会
第4次地域福祉推進計画

相生市社協では、本年3月に第4次地域福祉推進計画を策定しました。策定にあたっては、各団体や社協支部役員のみならず、市民から地域課題について多くのご意見やアイデアをいただき、17名の策定委員の方々に取りまとめていただきました。誠にありがとうございました。

地域福祉推進計画とは

社協が策定する「地域福祉推進計画」は、相生市において地域福祉を推進するにあたり、民間の立場で具体的な取り組み等を設定した行動計画です。

一方、行政がつくる「地域福祉計画」は、社会福祉法第107条に規定され、すべての市町村で策定するよう努めるものとされており、相生市では「第2次相生市地域福祉計画」を平成30年3月に策定しています。

「地域福祉推進計画」と「地域福祉計画」は、共に地域福祉の推進をめざし、住民の参加を得て策定されたもので、相互に連携して取り組むことがとても重要となります。



地域福祉推進計画策定の背景と主旨

相生市では、少子高齢・人口減少がすすむ中、高齢・障がい・子育て・生活困窮などのさまざまな生活・福祉課題が広がりを見せており、これらの課題に的確に対応していくためには、公的な福祉サービスだけではなく、家族や地域・職場における“支え合い”が大切であり、地域の多様な関係機関・団体や住民が連携・協働し、包括的な支援体制を整えながら、地域コミュニティの再構築と活性化を図っていくことが期待されています。

このような中、国においては、すべての人々が地域、暮らし、生きがいとともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉に関する政策を急速に推進しています。

相生市社会福祉協議会では、さまざまな人々によるつながりと支え合い、住民・地域・社協・行政等の協働による取り組みなど、相生市における地域福祉活動を推進するための新たな方向性を示す指針として策定しました。

計画の期間

計画の期間は、2019年度から2023年度までの5年間です。

相生市の現状と課題

住民座談会、当事者団体ヒアリング、相生市が実施したアンケート結果から抜粋

相談窓口について

- ・困っている住民がどこに相談すればよいか、わかりやすい相談窓口が必要。

ボランティアについて

- ・若い世代のボランティア参加が必要。私たちはいつまでも活動できない。

移動手段・交通手段について

- ・歩いて行ける距離に買い物できる場所がなく、自分や家族が運転できなくなると外出に困る。

見守り活動について

- ・個人情報は大切だが、高齢者や要援護者の情報共有を行い、名簿を共有することも必要ではないか。

地域について

- ・地域の課題を自分の事として考え、お互いに協力し合うことが必要。

たまり場づくりについて

- ・歩いて行ける距離に集まる場所が必要。
- ・自宅に閉じこもりがちな人に声を掛けることが必要。

障がいのある人について

- ・交流行事を通して、共に認め合うことが必要。

子育て支援について

- ・子育てひろばの担い手不足や後継者不足が心配だ。

総合目標

総合目標 「認め合い 支え合い 安心して暮らせる あいおい」

地域共生社会とは、制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が“我が事”として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて“丸ごと”つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会のことであり、その実現に向けた取り組みが重要視されています。

慣れ親しんだ地域の中でいつまでも安心して暮らし続けたいと願う気持ちは誰もが持っていますが、そのためには、住民同士がお互いに認めたり認められたり、また、支えたり支えられたりしながら生きていくことが大切です。

私たち相生市民一人ひとりが持っている力を出し合い、いつまでも「ふくしに満ち溢れたあいおいのまち」を目指しましょう。

住民一人ひとりをお願いしたいこと

みなさまの地域に、今一度、目を向けていただき、“オールあいおい”の精神で助け合いましょう。

- 1 近所への**あいさつ**や**声かけ**
- 2 地域の行事や活動への**積極的な参加**
- 3 近所にどんな人が暮らしているかを**知る**
- 4 困った時には遠慮せずに**SOSを出す**
- 5 気になる人や困っている人に気づけば、関係機関へ**相談（連絡）する**

第4次地域福祉推進計画総合体系図

総合目標 「認め合い 支え合い 安心して暮らせる あいおい」

〈推進目標〉

〈活動目標〉

〈具体的な取り組み項目〉※下線は重点項目

1. 社協は、
住民の身近な
相談窓口になります

1 住民の生活・福祉課題の
把握に努めます

- ① 地域の実情、ニーズの把握
- ② 介護保険事業等を通じたニーズ把握

2 総合的な相談機能・支援
体制づくりをすすめます

- ① 生活困窮者への支援体制づくり
- ② 総合的な相談支援体制の充実
- ③ 関係専門職との連携強化・協働

2. 社協は、
住民の支え合い活動を
支援します

1 社協支部活動の強化に努
めます

- ① 小地域福祉活動の推進
- ② 見守り事業実施に向けた取り組み
- ③ 災害にも強い地域づくり

2 当事者理解と社会参加の
促進を支援します

- ① 共に生きる社会の実現に向けた取り組み
- ② 移動が困難な人への支援
- ③ 介護をする人への支援

3 住民の福祉意識の向上に
努めます

- ① 学校や地域における福祉学習の開催
- ② 地域支え合い人材の育成
- ③ 住民座談会の開催

4 ボランティア活動者や地域
福祉活動者を支援します

- ① ボランティア活動の担い手の養成
- ② ボランティアグループの支援
- ③ 福祉委員活動の具体化

3. 社協は、
住民のつながりの場を
支援します

1 生活課題を解決するためのネッ
トワークづくりをすすめます

- ① 地域をつなぐネットワークづくり（生活支援
コーディネーター）
- ② 関係団体の自主的な運営の支援

2 住民のつどい場づくりを
支援します

- ① 身近な地域での交流の場づくり
- ② 相生市立生きがい交流センターを活用したつ
ながりの場づくり

4. 社協は、
住民から頼りにされる
組織になります

1 経営基盤の強化を図りま
す

- ① 社協会員の拡充
- ② 自主財源の確保に向けた取り組み
- ③ 組織ガバナンスの強化

2 地域福祉課題に対応でき
る人材を育成します

- ① スキル向上のための研修の実施・参加
- ② 情報共有のための仕組みづくり

3 災害時に備えた体制づく
りをすすめます

- ① 災害発生時に対応できる組織づくり
- ② 災害に備えた資機材の整備

4 積極的な広報活動を強化し
ます

- ① 情報発信の強化
- ② 社協事業のPR

～ 重点的に取り組む内容 ～

生活困窮者への支援体制づくり

市社会福祉課等と連携し、世帯の更生を支援します。また、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯に、生活に必要な食料等を提供することで、世帯の自立を促し、円滑な社会生活が送れるよう支援します。

小地域福祉活動の推進

住民の小地域福祉活動への参加や関心が高まるよう、社協支部や福祉委員活動の活発化を支援します。



福祉委員研修

学校や地域における福祉学習の開催

学校や地域において、住民相互の助け合いの意識を高める事業を推進します。

また、小・中・高等学校等と連携し、福祉や人権への理解を深めるための福祉学習を開催します。



小学校の福祉学習

社協会員の拡充

会費の性格や用途をPRし、地域住民の理解を求めることで、社協会員への加入を促進します。

地域をつなぐネットワークづくり (生活支援コーディネーター)

各社協支部において、住民が主体的に地域の課題を話し合い、支え合いや助け合いの活動に繋げることのできる協議の場(協議体)づくりを支援します。そして、制度の挟間の生活課題に対応するため、住民が主体となった助け合い活動を推進し、その活動を支援します。

ボランティア活動の担い手の養成

幅広い世代がボランティア活動に参加できるよう、さまざまなボランティア養成講座を開催します。また、身近な地域で地域福祉活動や地域コミュニティの核となるリーダーの養成を行います。



生活支援サポーター養成講座

災害発生時に対応できる組織づくり

「相生市社協災害救援マニュアル」の周知に努めます。また、災害ボランティアセンター設置訓練を定期的に実施するとともに、被災地への職員派遣に迅速に対応できる組織づくりに努めます。

身近な地域での交流の場づくり

各社協支部や単位自治会をエリアとしたふれあいいきいきサロン活動を推進し、一人暮らし高齢者などが身近に感じることでできるつどい場づくりを支援します。また、子育て中の親と子が気軽につどい、相談や情報交換のできる「まちの子育てひろば」の運営を支援します。



ふれあいいきいきサロン



災害救援ボランティア資材庫

事業計画と予算

平成31年3月26日に開催された評議員会において、平成31年度の事業計画及び予算が決まりました。

総合
目標

「認め合い 支え合い 安心して暮らせる あいおい」

推進目標 1



社協は、住民の身近な相談窓口になります

活動目標 1

住民の生活・福祉課題の把握に努めます

- ◆福祉ニーズの把握
- ◆福祉機器貸出しサービス及び相談
- ◆居宅介護支援事業
- ◆訪問介護事業
- ◆小規模多機能型居宅介護事業
- ◆障がい福祉サービス事業



活動目標 2

総合的な相談機能・支援体制づくりをすすめます

- ◆生活困窮者自立相談支援事業との協働
- ◆生活福祉資金貸付事業の実施
- ◆要保護・準要保護世帯児童・生徒への助成
- ◆歳末たすけあい運動要援護世帯支援助成
- ◆生活困窮者食料等支援事業
- ◆被災者への支援
- ◆ふれあい福祉相談所の運営
- ◆日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)
- ◆民生委員・児童委員との連携
- ◆課題解決に向けたネットワークの構築
- ◆社会福祉法人の地域公益活動の推進(新規事業)

推進目標 2



社協は、住民の支え合い活動を支援します

活動目標 1

社協支部活動の強化に努めます

- ◆地域ふれあい活動助成
- ◆地域歳末たすけあい事業助成
- ◆地域行事への用具貸出し
- ◆カレンダー配付
- ◆支え合いマップづくりの促進
- ◆災害にも強い地域づくり研修

活動目標 2

当事者理解と社会参加の促進を支援します

- ◆ひとり親家庭等小・中学校卒業祝
- ◆あいあいスポーツ大会への参加協力
- ◆手話通訳者等・要約筆記奉仕員派遣
- ◆高齢者等移送サービス
- ◆介護者への支援



活動目標 3

住民の福祉意識の向上に努めます

- ◆善意のつどい
- ◆福祉学習の実施
- ◆高等学校福祉活動助成
- ◆福祉教育推進指定校助成
- ◆福祉教育推進指定校連絡会
- ◆福祉学習用教材の貸出し
- ◆認知症サポーター養成講座
- ◆地域福祉リーダー研修
- ◆「トライやる・ウィーク」の受入れ
- ◆実習生受入れ
- ◆在宅看護論実習
- ◆住民座談会の開催



活動目標 4

ボランティア活動者や地域福祉活動者を支援します

- ◆ボランティア講座の開催
傾聴(入門)・朗読(初級)・移送サービス(入門)・生活支援・介護予防サポーター・点字(中級)
- ◆ジュニアボランティアスクール
- ◆ボランティア交流活動
- ◆ボランティア活動の調整
- ◆ボランティア協会との連携・協働
- ◆ボランティア活動に関する賞賛・顕彰
- ◆ボランティア・市民活動災害共済等
- ◆ボランティアグループ・NPOに対する助成金申請の支援
- ◆福祉委員活動の具体化

平成31(2019)年度

推進目標 3 社協は、住民のつながりの場を支援します

活動目標 1

生活課題を解決するためのネットワークづくりをすすめます

- ◆生活支援コーディネーターの配置
- ◆小地域の福祉ネットワークの場の設置への働きかけ
- ◆当事者及び支援団体への助成
- ◆福祉活動への事業費の助成
- ◆ユネスコ協会の事務局運営

活動目標 2

住民のつどい場づくりを支援します

- ◆ふれあいいきいきサロン
- ◆まちの子育てひろば
- ◆まちの子育てひろば連絡会の開催
- ◆相生市立生きがい交流センターの運営

推進目標 4 社協は、住民から頼りにされる組織になります

活動目標 1

経営基盤の強化を図ります

- ◆会員の拡充
- ◆共同募金運動に対する協力
- ◆介護保険事業職員の確保
- ◆社協広報紙有料広告
- ◆貸衣裳事業の運営
- ◆理事会・評議員会・監事会等の開催
- ◆評議員選任・解任委員会の開催
- ◆在宅福祉サービスの推進
- ◆既存事業の評価

活動目標 2

地域福祉課題に対応できる人材を育成します

- ◆役員研修
- ◆職員研修
- ◆部門別勉強会



活動目標 3

災害時に備えた体制づくりをすすめます

- ◆災害発生時に対応できる組織づくり
- ◆災害に備えた資機材の整備

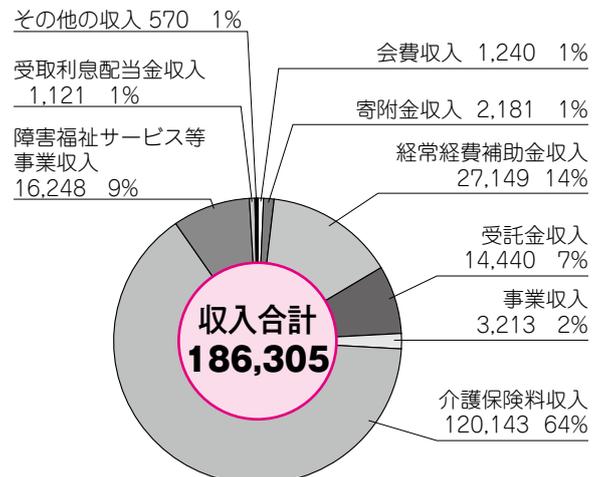
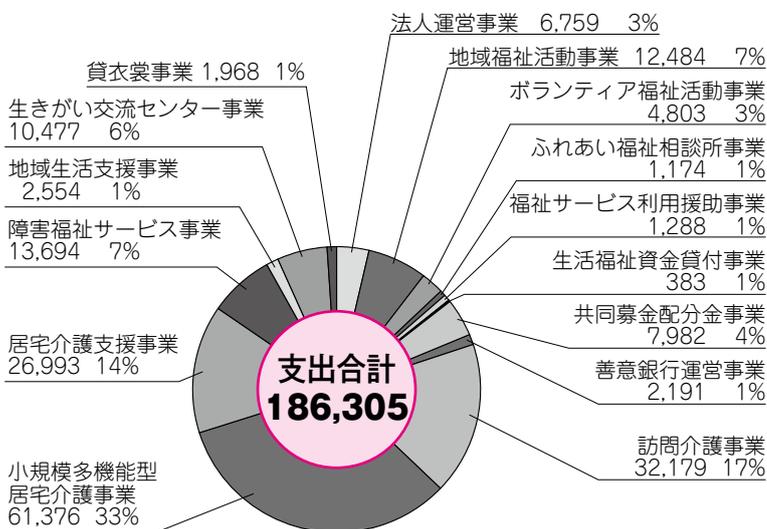
活動目標 4

積極的な広報活動を強化します

- ◆ホームページの刷新(新規事業)
- ◆社協だより「あいおいの福祉」の発行

予 算

(単位：千円)



相生市社会福祉協議会善意銀行では、
「6月1日善意の日」を記念して市内の福祉施設等に物品の払出しを行っています。

「善意銀行」では… 市民の皆様の尊い善意の気持ちを、金銭や物品としてお預かりし、相生市社会福祉協議会が行う福祉のまちづくりのための事業に大切にさせていただいております。

幼稚園
(合計：114,750円)
・あおば幼稚園… 絵本
・山手幼稚園… 絵本
・矢野川幼稚園… 絵本
・中央幼稚園… 絵本
・平芝幼稚園… 絵本
・相生幼稚園… 絵本

保育所
(合計：62,000円)
・八幡保育所… 日よけタープ
・平芝保育所… 加湿器
・矢野川保育所… 加湿器
・相生保育所… 玩具
・ゆりかごの家… 絵本

認定こども園
(合計：51,000円)
・テレジア幼稚園
… こいのぼり
・どんぐりの家
… 図書カード

福祉事業所 (合計：258,230円)
・元気アップみのり
… 屋外用プランター、プランターカバー
・合同会社アズ 就労継続支援施設 A型事業所あすなる
… ベンチ、テーブル、スチール棚5段、脚立、扇風機、掃除機
・特別養護老人ホームこすもす倶楽部 … センサーマット
・いぶき作業所 … かき氷機、製氷カップ

市民の皆さまのあたたかい善意
ありがとうございます
平成31年3月1日～令和元年5月31日 (敬称略)

善意銀行預託

(単位：円)

住所	氏名	内容	金額
3月			
緑ヶ丘4丁目	濱田 郁子		2,000
若狭野町福井	野勢 博昭	物品預託	
那波野1丁目	角本 勝	絵手紙アイデア作品の売上金	4,800
	匿名		2,000
佐方2丁目	久我 幸枝		2,000
相生5丁目	匿名		100,000
那波野3丁目	匿名		2,000
佐方3丁目	小寺 克典		3,000
たつの市揖西町南山	相生モラロジー事務所		5,000
	匿名	物品預託	
4月			
栄町	古文書に学ぶ会会長 大森 敏子		13,549
緑ヶ丘4丁目	濱田 郁子		2,000
那波西本町	奥田 富雄	亡母(雪野) 供養	50,000
旭2丁目	匿名	3月分、4月分	6,000
旭2丁目	匿名	3月分、4月分	6,000
佐方2丁目	久我 幸枝		2,000
緑ヶ丘3丁目	蛭子 浩志		10,000
緑ヶ丘3丁目	蛭子 浩志	介護用品	物品預託
佐方3丁目	小寺 克典		3,000
たつの市揖西町南山	相生モラロジー事務所		5,000
5月			
緑ヶ丘4丁目	濱田 郁子		2,000
佐方2丁目	久我 幸枝	令和記念	3,000
野瀬	高橋 房代	香料返し	50,000
旭5丁目	匿名		10,000
大石町	匿名		10,000
緑ヶ丘1丁目	匿名	物品預託	
	匿名		20,000
旭2丁目	匿名		3,000
旭2丁目	匿名		3,000
	匿名		3,000
たつの市揖西町南山	相生モラロジー事務所		5,000
佐方3丁目	小寺 克典		3,000
	匿名		5,000
	匿名	介護用品	物品預託
川原町	相生シルバー人材センター パソコン同好会		7,500

善意銀行払出し

(単位：円)

内容	金額
善意の日記念払出し	485,980
要保護・準要保護世帯生徒の中学校修学旅行に伴う小遣い(12件)	72,000
貸出用品(綿菓子機1台)	106,000

賛助会員

(1口：1,000円)

口数	住所	氏名	口数	住所	氏名
3	那波野1丁目	匿名	1	古池1丁目	匿名
3	古池2丁目	岡本 文博	1	古池2丁目	匿名
3	旭5丁目	宮崎 智子	1	古池2丁目	匿名
3	若狭野町入野	中原 美智子	1	野瀬	高橋 房代
3	若狭野町入野	中原 初子	1	青葉台	匿名
3	若狭野町下土井	匿名	1	若狭野町若狭野	匿名
3	赤坂1丁目	中田 勝康	1	那波野2丁目	佐渡 謙一
3	佐方2丁目	中西 イク子	1	那波野2丁目	赤木 美智博
3	千尋町	山田 節哉	1	佐方1丁目	匿名
2	双葉1丁目	匿名	1	佐方2丁目	金治 利明
2	相生2丁目	山田 笑子	1	佐方2丁目	緑 和子
2	佐方2丁目	久我 幸枝	1	佐方2丁目	小松 孝夫
2	佐方3丁目	前田 京子	1	佐方2丁目	小松 景子
2	千尋町	香島 英彦			

法人会員

(3,000円以上)

所在地	団体、事業所、企業名	金額
大島町	元気アップみのり	3,000
双葉1丁目	認定こども園どんぐりの家	3,000
大島町	保育園ゆりかごの家	3,000
那波大浜町	小規模多機能型居宅介護事業所たんぼぼ	3,000
那波本町	なばの里デイサービスセンター	3,000
山崎町	栗尾整形外科	3,000
那波本町	八幡保育所	3,000
若狭野町雨内	障害者グループホーム「めばえ」	3,000
若狭野町若狭野	若狭野荘	3,000
矢野町下田	矢野川保育所	3,000
那波野1丁目	平芝保育所	3,000
相生3丁目	相生保育所	3,000
矢野町真広	特別養護老人ホーム椿の園	3,000
矢野町真広	養護老人ホーム愛老園	3,000
山手2丁目	老人保健施設アルテハイムやまて	3,000
那波野1丁目	障害者支援施設野の草園	3,000
旭3丁目	合同会社アズ	3,000
野瀬	あいおい福祉会	3,000

これより下は広告欄です

最新鋭シール印刷機と
レーザーカッター導入

こんなカットも
できます！

有限会社 **はと印刷**
兵庫県相生市栄町12番1号
TEL 22-1111
http://www.hatojin.jp/

TruepressjetL250AQ シール印刷機

有限会社 **みなと保険企画**
営業所 〒678-0243 兵庫県赤穂市若草町142番地1
TEL 0791-42-2661 FAX 0791-42-2660

暮らしやすさを応援
介護と建築の専門店

つえ・車椅子
おむつ・トイレ
福祉機器・介護用品

手すりの取付
段差の解消
便器・浴槽の取替え

(有)アイフラ 介護支援 あい
那波大浜町 TEL 23-0805



グループホーム「すまいる」オープン
4月2日(火)

相生市那波大浜町にグループホーム「すまいる」がオープンしました。「すまいる」では、皆さんお互いに声をかけあい、笑顔あふれる共同生活を送られていました。安心できる「住まい」がここにあります。



脳トレブロック(コミュニケーション麻雀)
5月23日(木)

ふれあいいきいきサロン古池で、脳トレブロックに挑戦しました。2～3人のチームで相談しながらゲームを進めるので、勝った時はうれしい気持ちを、負けた時はがっかりした気持ちをチームの皆で分かち合えます。



あ・うんの会 ほのぼのコンサート
5月24日(金)

濱本哲也氏のギター演奏で、懐かしいフォークソングや、唱歌を楽しみました。介護者のつどい「あ・うんの会」では、月1回の例会でリフレッシュ活動を行っています。



「はるかな歌」をみんなで歌おう
5月30日(木)

ハーモニカ演奏グループ「sakata・ハモニアンサン」による定例演奏会が佐方南栄町公民館で行われました。懐かしい楽曲に合わせて歌ったり、手拍子をしたり、優しい音色に癒されて楽しい時間を過ごしました。



民生・児童委員と民生協力委員による合同研修会(双葉地区)
6月1日(土)

古池公会堂において開催された研修会では、医療や介護、福祉の専門職ボランティアグループ「ええで! あいおい」のメンバーと、地域の良いところや困っていることを話し合いました。課題解決のためには、住民と専門職との協力が大切であることを再確認しました。



認知症サポーター養成講座(双葉小学校)
6月7日(金)

双葉小学校にて、認知症サポーター養成講座を行いました。オープンスクールの日で開催でしたので、保護者の方々にも参加して頂けました。認知症についての勉強をし「私たちは認知症の人に何が出来るか」を考え、発表も行いました。

ボランティア協会だより

相生ボランティア協会

会長 小橋 邦子

平素はボランティア協会の活動にご理解いただきありがとうございます。元号も「平成」から「令和」に、新時代をむかえ会員一同気持ちを新たにボランティア活動を行って参ります。今後もしよろしくお願い申し上げます。

現在、協会では12のグループが自分の得意とする分野を活かし活動中ですが、会員の高齢化、会員の減少により活動が継続しにくくなっています。

そこでみなさま、私たちと一緒にボランティアを始めませんか? ボランティアというと「奉仕」「自己犠牲」と思いがちですがそれは違います。本当は「やりたいからやる」「楽しい」「自分が変われる」体験なのです。たとえば、子供に手がからなくなり「ほっと」一息、でも何だか毎日さがみしいという主婦の方。家事だけの毎日では物足りない、そのあふれるエネルギーを他人の為に使ってみてはどうでしょうか。また、定年退職をむかえ「これまでの会社人間から脱皮して新しい人生を」と思っているシニアもボランティアの世界では有望な人材です。また、育児や仕事でてんてこまいという人も、忙しいなりにできることもあります。

ボランティアを始めることで、自分の知らなかった新しい世界、人生が見えてくるかも・・・。

みなさん、ボランティアを一緒にがんばりましょう! お待ちしています。



福祉教育作文最優秀作品

6月2日(日)に開催の「相生市善意のつどい」において、最優秀賞、優秀賞に輝いた児童・生徒6名が表彰され、最優秀賞を受賞した児童・生徒による作文の朗読が行われました。

中学校の部

『しあわせの連鎖』

双葉中学校 2年 矢倉 圭恭

毎日、僕は7時40分に家を出て学校に向かう。気分の良い日は、足どりも軽い。テストの日は、足どりが重い。小学校の時から八年間、毎日歩いて通っている道だ。

僕の家は山の一番上であって、行きはとて楽だけど帰りはとてもしんどい。重い教科書の入ったカバンを背負って、補助カバンを手持ったの長い坂道は地獄のようだ。小学生の頃、友達と遊ぶ約束をした日は少しでも早く遊びに行きたいから死にそうなくらい一気に坂道をかけ上がった。そんな坂道は中学生になった今では、体力がつかないおかげで苦にならなくなった。

その日もいつもの時間に家を出て坂道を下り、いつも通る散髪屋さんの所まで来た時、忘れ物をしたことに気付いた。大急ぎで来た道をUターンして猛ダッシュで坂道の下まで戻って来た。坂道の下で大きく深呼吸をして一気にかけ上がり家まで戻った。急いで忘れ物をカバンに入れ、来た道を一気にか

け下りると、僕の前につえをついたおばあちゃんがごみ袋を道に置いて立っているのが見えた。急いでいたのでそのまま横を通り抜けた。下り坂だからきつと楽だよ、僕は思った。後ろから「いつてらっしゃい。」という声が聞こえたので五・六歩くらい走った所で振り返って見ると、さっきの所から全く動いてなかった。僕は、急いでかけ下りた坂道をUターンしておばあちゃんの所に行った。そして、ゴミ袋を持っておばあちゃんに「これ、あのゴミステーションに捨てていたらええなあ。」とおばあちゃんの返事も聞かずに走って、僕のカバンよりだいぶ軽いゴミを捨て、猛ダッシュで学校に向かった。

帰り道、坂道を歩きながら今朝の出来事を思い出した。「いつもの時間に家を出るから今まであのおばあちゃんに会わなかったのか。あんなに軽いゴミを捨てて行く事ってそんなに大変なことなのかな。年を取ったら坂道を下ることが難しいのかな。」

家に帰ると、朝会ったおばあちゃんが隣に住んでいる僕のおばあちゃんに、朝ゴミ捨てをしてもらって「ありがとう。」と言つといてと頼まれたことを、僕に教えてくれた。

僕らには、簡単なことでもお年寄り

や手足が不自由な人にとっては時間がかかったり、大変なことだと思った。あの時は、お礼を言つて欲しいからゴミを捨てたんじゃない。とつさに「おばあちゃん捨ててに行きたくても早くいけないから休んでいた。」そう思えたから行動に移せたのだ。僕ら若者が、困っている人やお年寄りに自然と手を差し伸べられたらみんなが幸せに生きられる社会になると思います。きつと、自分にも幸せが返つてくると思います。その証拠に僕は、「ありがとう」という言葉を聞いてとても幸せな気持ちになりました。



『笑顔あふれる町に』

那波小学校 5年 今井 苺

平成31年4月27日。わたしのひいおばあちゃんの百歳のたん生日でした。百歳をむかえられるということは、とてもうれしくすばらしいことだと思います。みんなが集まっておいわいすると、ひいおばあちゃんはとてもよく笑っていました。

わたしが一年生のころまでは、とても元気でいっしょに買い物に行っていました。でも最近では、ベッドでねていることが多くなりました。そして、わたしのこともわすれているときがあり、笑うことも少なくなりました。いつまでも元気でいてくれると思っていたので、わたしは、とてもかなしくなりました。

今は、買い物に行く時、車いすが必要になり、付きそいがいないと一人で行くことはできません。

おふろに入るのも今は、ヘルパーさんに来てもらっています。わたしは、ただ見ているだけで何もできませんでした。

四年生の時に、「たんぽぽ」という高齢者の施設に行きました。そこには、たくさんのおじいちゃんやおばあちゃんがいました。わたしは、歌を歌ったり、リコーダーをえんそうしたりしました。すると、みんなが笑顔になり、手をたたいてくれたり、なみだを流したりしながら聞いてくれる方もいました。その時、わたしは思いました。わたしにもできることがあるんだなあ。

何もしようとしなかっただけで、できることはたくさんあるんだということに気がつきました。

相生市にもたくさんのお年よりがいます。買い物に行った時、少し勇気を出して、「大丈夫ですか。」「手つだいましょうか。」と、声をかけていきたいと思えます。また、電車やバスに乗った時には、席を



ゆずったり手をかしたりしたいと思えます。

わたしの一言で、たくさんのおじいちゃんおばあちゃんが笑顔になってくれたら、とてもうれしいです。そして、安心してくらせる相生市になったらいいなと思えます。

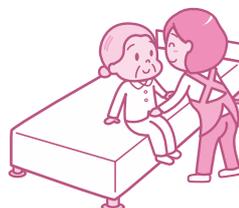
今、自分にできることを考えて、人の役に立てるようになりたいです。相生市を笑顔あふれる町にしたいと思えます。

これより下は広告欄です

介護者のつどい「あ・うんの会」～会員募集～

介護者が悩みを話し合う会や勉強会、施設見学会などの活動があります。活動への参加は自由です。お気軽にどうぞ。

定例会：毎月第3火曜日
時 間：13：30～15：00
場 所：相生市立総合福祉会館



一心一途

ほけんの

有限会社 アール・エム・シー・モリ

<http://www.rmc-mori.com/>

たつの市龍野町富永779-1

TEL (0791) 64-6716 FAX (0791) 64-6718

弁護士の法律相談

弁護士が問題解決に向けて助言をする相談所です。

場所: 相生市立総合福祉会館3階

相談料: 無料 (相談時間 30分)

相談時間: 9時00分～12時00分

30分ごとの予約制

日程: 7月6日(土)

7月20日(土)

8月3日(土)

8月17日(土)

9月7日(土)

9月21日(土)

ふれあい心配事相談

気軽に立ち寄れる相談窓口として開設しています。お電話でも受け付けています。

場所: 相生市立総合福祉会館3階

相談料: 無料

相談時間: 13時30分～16時00分

予約不要

日程: 7月8日(月)

8月13日(火)

9月9日(月)



県民ボランティア活動助成金のご案内

主に兵庫県内で活動するボランティアグループに対する助成金の案内です。

受付期間: 7月1日(月)～8月30日(金)

助成金額: 上限3万円

※エントリー数による

助成対象: 令和元年度に県内でボランティア活動を12日以上行う5人以上のグループ・団体(その他条件あり)

実施主体: ひょうごボランティアプラザ(兵庫県社会福祉協議会)

その他: 社協に備え付けている所定のエントリー書に必要事項を記入の上申請してください。



病院での付き添いボランティア募集!

市内の病院を受診する時に、待合いなどで一緒に付き添っていただけるボランティアを募集しています。活動時間は1回につき1～2時間程度、活動日は要相談です。ご協力いただける方は、ぜひご連絡をお待ちしています。

傾聴ボランティア入門講座

お話し相手のボランティアの依頼が増えています。あなたも講座に参加して活動してみませんか。

7月23日(火) 9:30～11:30

相生市立総合福祉会館301研修室

コミュニケーションの基本

講師: 心理カウンセラー 稲松 由佳氏

7月30日(火) 9:30～11:30

相生市立総合福祉会館401研修室

傾聴の技術を高める

講師: 心理カウンセラー 稲松 由佳氏

8月6日(火) 9:30～11:30

相生市立総合福祉会館401研修室

傾聴ボランティアの魅力

講師: 元こすもす倶楽部統括施設長 福島 玲子氏

8月7日(水)～8月30日(金)

市内福祉施設

体験してみよう～施設でのボランティア体験～

対象者: 傾聴ボランティアに興味のある方

締切: 7月19日(金)

定員: 20名

参加費: 無料



貸衣裳予約フェア開催!!

日時 / 8月2日(金)・8月3日(土)

10時00分～16時00分

場所 / 相生市立総合福祉会館3階 衣裳室

相生市外の方も
ご利用いただけます

ご来場の方に
粗品進呈

予約フェア期間中
着物の払下を行います

8月2日(金)の割引対象衣裳

◆振袖 (通常 25,000円～48,000円→22,500円～43,200円)

8月3日(土)の割引対象衣裳

◆留袖 (通常 5,000円～25,000円→4,500円～22,500円)

◆男紋付 (通常 12,000円～20,000円→10,800円～18,000円)

◆小振袖 (通常 6,000円→5,400円)

◆付下 (通常 5,000円～10,000円→4,500円～9,000円)

◆袴・お宮参り・色無地・小紋 (通常 5,000円→4,500円)

相生市社会福祉協議会では、品質のよい品を低価格で貸出ししております。さまざまな行事にお役立て下さい。



このページのお問合せ・申込み…相生市社会福祉協議会 ☎ 23-2666